

bizhub C3110

ユーザーズガイド 設定キーの説明



もくじ

1	本機の各種設定をする	
1.1	[設定メニュー] を表示する	1-2
1.2	[管理者設定] を表示する	1-3
2	[ユニバーサル設定]	
	[キーリピート開始 / 間隔]	2-2
	[メッセージ表示時間]	2-2
	[音設定]	2-2
	[LCD コントラスト]	2-3
3	[用紙設定]	
	[手差し]	3-2
	[トレイ 1]	3-2
	[トレイ 2]	3-2
4	[宛先登録]	
	[E-mail]	4-2
	[ファクス]	4-2
5	[ユーザー設定]	
5.1	[環境設定]	5-2
	[表示言語選択]	5-2
	[単位系設定]	5-2
	[給紙トレイ]	5-2
5.2	[コピー設定]	5-3
	[集約倍率]	5-3
	[コピー初期設定]	5-3
	[連続読み込み方法]	5-3
5.3	[ファクス / スキャン設定]	5-4
	[白黒 2 値圧縮方法]	5-4
	[ファクス初期設定]	5-4
	[スキャン初期設定]	5-4
	[レポート出力]	5-4
5.4	[プリンター設定]	5-5
	[用紙設定]	5-5
	[レポート出力]	5-6
	[OOXML 印刷設定]	5-6
	[レイアウト - ページ割付]	5-6
6	[管理者設定]	
6.1	[環境設定]	6-2
	[電源 / パワーセーブ設定]	6-2
	[日付 / 時刻設定]	6-2
	[サマータイム設定]	6-2
	[ウィークリータイマー設定]	6-3
	[ユーザー操作禁止設定]	6-3
	[エキスパート調整]	6-4
	[リスト / カウンター]	6-5
	[優先給紙トレイ]	6-5
	[リセット設定]	6-5
	[フォルダー設定]	6-6



6.2	[管理者 / 本体登録]	6-7
	[管理者登録]	6-7
	[本体アドレス登録]	6-7
6.3	[宛先登録リスト]	6-8
	[短縮宛先リスト]	6-8
	[グループ宛先リスト]	6-8
	[プログラム宛先リスト]	6-8
	[件名 / 本文リスト]	6-8
6.4	[ネットワーク設定]	6-9
	[TCP/IP 設定]	6-9
	[http サーバー設定]	6-10
	[FTP 設定]	6-10
	[E-mail 設定]	6-10
	[SNMP 設定]	6-10
	[Bonjour 設定]	6-11
	[DPWS 設定]	6-11
	[詳細設定]	6-11
	[IEEE802.1x 認証設定]	6-11
	[AirPrint 設定]	6-12
	[拡張ネットワーク設定]	6-12
6.5	[プリンター設定]	6-15
	[スタートページ設定]	6-15
	[自動継続]	6-15
	[用紙設定]	6-15
	[単位系設定]	6-15
	[ジョブ保持タイムアウト]	6-15
	[画質設定]	6-16
	[エミュレーション]	6-18
	[レターヘッド両面印刷]	6-19
	[レターヘッド紙セット方向]	6-19
6.6	[ファクス設定]	6-20
	[発信元 / ファクス ID 登録]	6-20
	[発信元 / 受信情報]	6-20
	[回線パラメーター設定]	6-21
	[送信 / 受信設定]	6-22
	[機能設定]	6-23
	[PBX 接続設定]	6-24
	[レポート出力設定]	6-24
	[設定値リスト]	6-25
6.7	[システム連携]	6-26
	[管理者発信]	6-26
6.8	[セキュリティ設定]	6-27
	[管理者パスワード]	6-27
	[セキュリティ詳細]	6-27
	[セキュリティ強化設定]	6-28
	[HDD 管理設定]	6-29
	[SSD 管理設定]	6-29
6.9	[ペーパーエンプティー設定]	6-30
6.10	[ライセンス管理]	6-30
	[リクエストコード発行]	6-30
	[有効化]	6-30
	[有効機能一覧]	6-30

1

本機の各種設定をする

1 本機の各種設定をする

1.1 [設定メニュー] を表示する

[設定メニュー] を表示するときは、各モードのメイン画面で ▲/▼ を押して、[設定メニュー] を選び、選択を押します。

[設定メニュー] では、本機の各種設定や宛先の登録などができます。

設定	説明
[ユニバーサル設定]	メッセージウィンドウの表示や操作音に関する設定をします。 設定内容について詳しくは、2-2 ページをごらんください。
[用紙設定]	印刷に使用する用紙や給紙トレイの設定をします。 設定内容について詳しくは、3-2 ページをごらんください。
[宛先登録]	E-mail宛先、ファクス宛先を登録します。 設定内容について詳しくは、4-2 ページをごらんください。
[ユーザー設定]	ユーザーが設定を変更できる項目です。 お使いの環境に合わせて、コピー、ファクス／スキャン、プリンター機能の初期値や画面表示を、使いやすいように変更できます。 設定内容について詳しくは、5-2 ページをごらんください。
[管理者設定]	管理者が設定できる項目です。設定するには、管理者パスワードの入力が必要です。 お使いの環境に合わせて、コピー、プリンター、ファクスの初期動作、節電機能、ネットワーク機能を設定できます。 設定内容について詳しくは、6-2 ページをごらんください。

1.2 [管理者設定] を表示する

管理者設定を表示するには、管理者パスワードの入力が必要です。

- 1 メイン画面で ▲/▼ を押して、[設定メニュー] を選び、選択を押します。
- 2 [管理者設定] を選び、選択を押します。
- 3 管理者パスワードを入力します。

→ 管理者パスワードの初期値は「12345678」です。

[管理者設定] 画面が表示されます。設定できる項目は次のとおりです。

設定	説明
[環境設定]	本機の日時、節電機能、機能の動作や画面表示など、本機の操作環境を設定します。 設定内容について詳しくは、6-2 ページをごらんください。
[管理者 / 本体登録]	管理者と本機の情報を登録します。 設定内容について詳しくは、6-7 ページをごらんください。
[宛先登録リスト]	宛先リストを印刷します。 設定内容について詳しくは、6-8 ページをごらんください。
[ネットワーク設定]	TCP/IP の設定やスキャナ送信機能の使用環境の設定など、本機のネットワーク機能を設定します。 設定内容について詳しくは、6-9 ページをごらんください。
[プリンター設定]	プリント機能に関する設定をします。 設定内容について詳しくは、6-15 ページをごらんください。
[ファクス設定]	ファクス機能に関する設定をします。 設定内容について詳しくは、6-20 ページをごらんください。
[システム連携]	本機と他のシステムとの連携に関する設定をします。 設定内容について詳しくは、6-26 ページをごらんください。
[セキュリティ設定]	パスワードの設定やデータ管理方法など、本機のセキュリティ機能を設定します。 設定内容について詳しくは、6-27 ページをごらんください。
[ペーパーエンプティー 設定]	トレイに用紙がなくなったときに警告を表示するかどうかを設定します。 設定内容について詳しくは、6-30 ページをごらんください。
[ライセンス管理]	拡張機能を利用するため必要となるリクエストコードの発行や、拡張機能の有効化を行います。 設定内容について詳しくは、6-30 ページをごらんください。

2

[ユニバーサル設定]

2 [ユニバーサル設定]

[キーリピート開始 / 間隔]

表示するには：[設定メニュー] - [ユニバーサル設定] - [キーリピート開始 / 間隔]

キーを押すとまず 1 文字入力され、そのままキーを押し続けると連続した入力を開始します。これをキーリピートと呼びます。

必要に応じて、キーを押してからキーリピートを開始するまでの時間と、連続して入力するときの間隔を変更します。

設定	説明
[開始までの時間]	キーを押し続けたときに、連続した入力を開始するまでの時間を変更します。 初期値は [0.8] 秒です。
[間隔時間]	キーを押し続けて連続して入力するときの間隔を変更します。 初期値は [0.3] 秒です。

[メッセージ表示時間]

表示するには：[設定メニュー] - [ユニバーサル設定] - [メッセージ表示時間]

メッセージウィンドウに表示するメッセージの表示時間を変更します。

初期値は [3] 秒です。

[音設定]

表示するには：[設定メニュー] - [ユニバーサル設定] - [音設定]

キー操作音や警告音などを鳴らすかどうかを選びます。必要に応じて、音量を調節します。

設定	説明
[操作確認音]	次の操作確認音を鳴らすかどうかを選びます。鳴らす場合は、音量を 3 段階で調節します。 <ul style="list-style-type: none"> 【入力確認音】：キーを押して入力したときに鳴る音です。 【入力無効音】：キーを押したが無効な入力だったときに鳴る音です。 初期値はすべて [ON] / [中] です。
[正常終了音]	次の正常終了音を鳴らすかどうかを選びます。鳴らす場合は、音量を 3 段階で調節します。 <ul style="list-style-type: none"> 【操作終了音】：操作が正常に終了したときに鳴る音です。 【通信終了音】：通信が正常に終了したときに鳴る音です。 初期値はすべて [ON] / [中] です。
[準備完了音]	本機が使用できる状態になったときに準備完了音を鳴らすかどうかを選びます。鳴らす場合は、音量を 3 段階で調節します。 初期値は [ON] / [中] です。
[注意音]	次の注意音を鳴らすかどうかを選びます。鳴らす場合は、音量を 3 段階で調節します。 <ul style="list-style-type: none"> 【弱注意音 (Level1)】：各消耗品および交換部品が交換時期に近づき、メッセージウィンドウにメッセージが表示されたときに鳴る音です。 【弱注意音 (Level2)】：ユーザーが誤った操作を行ったときに鳴る音です。 【弱注意音 (Level3)】：メッセージやマニュアルを参照することで対処できるレベルのエラーが発生したときに鳴る音です。 【強注意音】：サービスエンジニア対応レベルのエラーが発生したときに鳴る音です。 初期値はすべて [ON] / [中] です。

[LCD コントラスト]

表示するには：[設定メニュー] - [ユニバーサル設定] - [LCD コントラスト]

メッセージウィンドウの明るさの度合い（輝度）を調整します。

初期値は [0]（中間）です。

3

[用紙設定]

3 [用紙設定]

[手差し]

表示するには：[設定メニュー] - [用紙設定] - [手差し]

手差しトレイにセットした用紙のサイズと種類を設定します。

設定	説明
[用紙種類]	セットした用紙の種類を選びます。
[用紙サイズ]	定形サイズの用紙をセットした場合に、セットした用紙のサイズを選びます。 [不定形サイズ] を選んだ場合は、セットした用紙の幅と長さを入力します。

[トレイ 1]

表示するには：[設定メニュー] - [用紙設定] - [トレイ 1]

トレイ 1 にセットした用紙のサイズと種類を設定します。

設定	説明
[用紙種類]	セットした用紙の種類を選びます。
[用紙サイズ]	定形サイズの用紙をセットした場合に、セットした用紙のサイズを選びます。 [不定形サイズ] を選んだ場合は、セットした用紙の幅と長さを入力します。

[トレイ 2]

表示するには：[設定メニュー] - [用紙設定] - [トレイ 2]

トレイ 2 にセットした用紙の種類を設定します。

設定	説明
[用紙種類]	セットした用紙の種類を選びます。
[用紙サイズ]	セットした用紙のサイズを表示します。

参考

- [トレイ 2] は、オプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。
- [トレイ 2] には、不定形サイズの用紙をセットできません。

4

[宛先登録]

4 [宛先登録]

[E-mail]

表示するには：[設定メニュー] - [宛先登録] - [E-mail] - 短縮ダイアル番号入力

宛先とするメールアドレスを登録します。

設定	説明
[登録名]	宛先の名前を入力します（72文字以内）。
[常用]	よく送信する宛先の場合に設定します。設定した宛先は「常用」に表示されるため、宛先の指定が簡単になります。
[送信先]	宛先とするメールアドレスを入力します。



参考

登録済みの宛先の短縮ダイアル番号を入力して選択を押すと、宛先の編集または削除ができます。

- 登録した宛先を編集する場合は、[編集] を選び、登録内容を編集します。
- 登録した宛先を削除する場合は、[削除] を選びます。

[ファクス]

表示するには：[設定メニュー] - [宛先登録] - [ファクス] - 短縮ダイアル番号入力

宛先とするファクス番号を登録します。

設定	説明
[登録名]	宛先の名前を入力します（72文字以内）。
[常用]	よく送信する宛先の場合に設定します。設定した宛先は「常用」に表示されるため、宛先の指定が簡単になります。
[送信先]	宛先とするファクス番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 構内回線（PBX）環境でお使いの場合は、外線番号のあとにリダイアル / ポーズを押すと、より確実なダイアルができます。 構内回線（PBX）環境でお使いの場合は、#を押すと、自動的に外線へ接続します。



参考

登録済みの宛先の短縮ダイアル番号を入力して選択を押すと、宛先の編集または削除ができます。

- 登録した宛先を編集する場合は、[編集] を選び、登録内容を編集します。
- 登録した宛先を削除する場合は、[削除] を選びます。

5

[ユーザー設定]

5 [ユーザー設定]

5.1 [環境設定]

[表示言語選択]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [環境設定] - [表示言語選択]

メッセージウィンドウの表示言語を設定します。

初期値は [日本語] です。

[単位系設定]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [環境設定] - [単位系設定]

メッセージウィンドウに表示する数値の単位系を [mm] または [インチ] から選びます。

初期値は [mm] です。

[給紙トレイ]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [環境設定] - [給紙トレイ]

給紙トレイの選択や切換えに関する設定をします。

設定	説明
[自動選択トレイ]	給紙トレイを自動選択する場合に、自動選択の対象とする給紙トレイを選びます。[ON] に設定したトレイの中から、最適な用紙がセットされたトレイを自動的に使います。 初期値はすべて [ON] です。
[ATS 許可]	印刷中に給紙トレイの用紙がなくなったとき、同じサイズ、同じ方向、同じ種類の用紙がセットされている給紙トレイへの自動切換 (ATS : オートトレイスイッチ) を有効にするかどうかを選びます。 ただし、ATS の対象となる給紙トレイは、[自動選択トレイ] で選択されている給紙トレイとなります。 初期値は [OFF] です。
[リスト印刷出力]	設定情報リストやカウンターリストなど、各種リストを印刷するときに使用する給紙トレイを選びます。 初期値は [トレイ 1] です。

5.2 [コピー設定]

[集約倍率]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [コピー設定] - [集約倍率]

ページ集約を設定し、印刷用紙を自動選択する場合に、自動で適した倍率に調整するかどうかを設定します。

- [お勧め倍率]：自動で適した倍率に調整します。
- [設定しない]：手動で倍率を設定する場合に選びます。

初期値は [お勧め倍率] です。

[コピー初期設定]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [コピー設定] - [コピー初期設定]

コピーモードの初期値（電源を ON にしたときや、リセットを押したときの設定値）を変更します。

コピーモードの各種設定の設定値を変更した状態で [現在の設定値] を選ぶことで、設定値を変更できます。

初期値は [出荷時の設定値] です。

[連続読み込み方法]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [コピー設定] - [連続読み込み方法]

[連続読み込み] を設定して原稿を読み込むときのコピーするタイミングを選びます。

- [自動出力]：原稿の読み込み中に印刷を開始します。生産性を重視したい場合に選びます。
- [一括出力]：すべての原稿の読み込みが終了してから印刷を開始します。設定間違いなどがあるときは、印刷前にデータを削除できます。

初期値は [自動出力] です。

5.3 [ファクス / スキャン設定]

[白黒 2 値圧縮方法]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [ファクス / スキャン設定] - [白黒 2 値圧縮方法]

モノクロで送信するときの圧縮方法の初期値を、[MH] または [MMR] から選びます。

初期値は [MMR] です。

[ファクス初期設定]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [ファクス / スキャン設定] - [ファクス初期設定]

ファクス送信モードの初期値（電源を ON にしたときや、リセットを押したときの設定値）を変更します。

ファクス送信モードの各種設定の設定値を変更した状態で [現在の設定値] を選ぶことで、設定値を変更できます。

初期値は [出荷時の設定値] です。

[スキャン初期設定]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [ファクス / スキャン設定] - [スキャン初期設定]

スキャン送信モードの初期値（電源を ON にしたときや、リセットを押したときの設定値）を変更します。

スキャン送信モードの各種設定の設定値を変更した状態で [現在の設定値] を選ぶことで、設定値を変更できます。

初期値は [出荷時の設定値] です。

[レポート出力]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [ファクス / スキャン設定] - [レポート出力]

送信管理レポートおよび受信管理レポートを印刷します。

設定	説明
[送信管理レポート]	送信結果を記載したレポートを印刷します。 [印刷する] を選択し、選択を押すと印刷できます。
[受信管理レポート]	受信結果を記載したレポートを印刷します。 [印刷する] を選択し、選択を押すと印刷できます。

5.4 [プリンター設定]

[用紙設定]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [プリンター設定] - [用紙設定]

印刷に使用する用紙や給紙トレイの設定や、プリンタードライバーから指定がない場合の印刷条件に関する設定をします。

設定	説明
[初期設定トレイ]	優先して使用する給紙トレイを選びます。 初期値は「トレイ 1」です。
[任意のトレイ設定]	各トレイで設定した任意の用紙サイズと用紙種類の設定を適用するかどうかを設定します。
[手差し]	[設定メニュー] - [用紙設定] - [手差し] で設定した任意の用紙サイズと用紙種類の設定を適用するかどうかを選びます。 [手差し任意のサイズ]：初期値は「OFF」です。 [手差し任意の種類]：初期値は「OFF」です。
[トレイ 1]	[設定メニュー] - [用紙設定] - [トレイ 1] で設定した任意の用紙サイズと用紙種類の設定を適用するかどうかを選びます。 [トレイ 1 任意のサイズ]：初期値は「OFF」です。 [トレイ 1 任意の種類]：初期値は「OFF」です。
[トレイ 2]	[設定メニュー] - [用紙設定] - [トレイ 2] で設定した任意の用紙種類の設定を適用するかどうかを選びます。 初期値は「OFF」です。 オプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。
[両面印刷]	両面印刷を有効にするかどうかを選びます。 初期値は「OFF」です。
[印刷部数]	印刷部数を入力します。 初期値は「1」です。
[部単位印刷]	複数部を印刷するときに、部単位で印刷するかどうかを選びます。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。 初期値は「OFF」です。
[開き方向 / とじ方向]	両面印刷するときの、とじ位置を選びます。 初期値は「左開き／とじ」です。
[ATS 許可]	印刷中に給紙トレイの用紙がなくなったとき、同じサイズ、同じ方向、同じ種類の用紙がセットされている給紙トレイへの自動切換 (ATS：オートトレイスイッチ) を許可するかどうかを選びます。 初期値は「ON」です。
[トレイマッピング]	他社のプリンタードライバーからプリントジョブを受信した場合、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。
[トレイマッピングモード]	トレイマッピングを有効にするかどうかを選びます。 初期値は「OFF」です。
[論理トレイ 0] ~ [論理トレイ 9]	論理トレイ 0 ~ 9 を物理トレイに割当てます。
[印刷の向き]	印刷する画像の向きを選びます。 初期値は「ポートレート」です。
[小さめ印刷]	PDF、PPML、OOXML (docx、xlsx、pptx) ファイルをダイレクト印刷するときに、ページ全体を少し縮小して印刷するかどうかを選びます。 原稿の端の画像が欠けないように印刷したいときに設定します。 初期値は「OFF」です。
[TIFF 画像用紙設定]	TIFF、JPEG、PDF 形式のファイルをダイレクト印刷するときに使用する用紙の決定方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動]：画像サイズに適合するサイズの用紙に印刷します。 ・ [優先用紙サイズ]：優先して使用するサイズの用紙に印刷します。 初期値は「優先用紙サイズ」です。

[レポート出力]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [プリンター設定] - [レポート出力]

統計ページやカウンターリストなど、プリント関連リストを印刷します。

設定	説明
[統計ページ]	印刷枚数などの統計情報が記載されたリストを印刷します。 [印刷] を選択し、選択を押すと印刷できます。
[カウンターリスト]	カウンター情報が記載されたリストを印刷します。 [印刷] を選択し、選択を押すと印刷できます。

[OOXML 印刷設定]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [プリンター設定] - [OOXML 印刷設定]

OOXML (docx、xlsx、pptx) ファイルをダイレクト印刷するときの、印刷設定の初期値を設定します。

設定	説明
[OOXML 印刷モード]	OOXML (docx、xlsx、pptx) ファイルをダイレクト印刷するときに、画質を優先するか、速度を優先するかを選びます。 初期値は [速度優先] です。
[シート / ブック印刷]	Excel ファイルを印刷するときに、現在選んでいるシートを印刷するか、ブック全体を印刷するかを選びます。 初期値は [現在のシート] です。
[用紙設定]	OOXML (docx、xlsx、pptx) ファイルを印刷する用紙のサイズを選びます。 初期値は [A4] です。
[用紙種類]	OOXML (docx、xlsx、pptx) ファイルを印刷する用紙の種類を選びます。 初期値は [普通紙] です。



オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

[レイアウト - ページ割付]

表示するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [プリンター設定] - [レイアウト - ページ割付]

ダイレクト印刷するときの、ページ割付設定の初期値を設定します。

設定	説明
[ページ集約]	複数のページを 1 枚の用紙の同じ面に縮小して印刷するかどうかを選びます。 初期値は [OFF] です。
[行]	1 枚の用紙の横方向に割付けるページ数を入力します。 初期値は [1] です。
[列]	1 枚の用紙の縦方向に割付けるページ数を入力します。 初期値は [1] です。
[集約順]	ページの配置のしかたを選びます。 初期値は [横順] です。
[集約方向]	ページを配置する方向を選びます。 初期値は [左上から右下] です。

設定	説明
[レイアウト設定]	<p>レイアウトに関する詳細な設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [ページ間隔 - 行方向]：行方向のページの間隔を設定します。初期値は [0 mm] です。・ [ページ間隔 - 列方向]：列方向のページの間隔を設定します。初期値は [0 mm] です。・ [ページ余白 - 上余白]：ページ上部の余白を設定します。初期値は [0 mm] です。・ [ページ余白 - 下余白]：ページ下部の余白を設定します。初期値は [0 mm] です。・ [ページ余白 - 左余白]：ページ左部の余白を設定します。初期値は [0 mm] です。・ [ページ余白 - 右余白]：ページ右部の余白を設定します。初期値は [0 mm] です。・ [ページ倍率]：倍率を自動設定するか、任意の倍率を指定するかを選びます。初期値は [自動] です。・ [ページ倍率 - 手動入力]：任意の倍率を指定してページを拡大または縮小します。初期値は [100] です。・ [ページ枠]：ページ間に境界線を印字するかどうかを選びます。初期値は [OFF] です。

6

[管理者設定]

6 [管理者設定]

6.1 [環境設定]

[電源 / パワーセーブ設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [電源 / パワーセーブ設定]

パワーセーブモードの動作を設定します。

設定	説明
[スリープ設定]	スリープモードの動作を設定します。
[時間設定]	本機を操作しなくなつてから、スリープモードに自動的に移行するまでの時間を変更します。 初期値は [1分] です。
[パワーセーブ移行]	パワーセーブモード中に、本機がファックスやコンピューターからの印刷ジョブを受信したとき、印刷後にパワーセーブモードに切換えるタイミングを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [通常]：[スリープ設定] の設定時間で切換えます。 ・ [即時]：印刷後にすぐにパワーセーブモードに切換えます。 初期値は [即時] です。
[スリープ中の消費電力]	スリープモード中の消費電力を抑制するかどうかを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [抑制する]：スリープモード中の消費電力をさらに抑制します。通常は [抑制する] を選びます。 ・ [抑制しない]：[抑制する] に設定していて、ネットワーク接続時の応答が悪いなどのトラブルがあった場合に選びます。 初期値は [抑制する] です。

[日付 / 時刻設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [日付 / 時刻設定]

本機の日時とタイムゾーンを手動で設定します。

設定	説明
[日付設定]	現在の日付を入力します。
[時刻設定]	現在の時刻を入力します。
[タイムゾーン]	NTP サーバーを利用して本機の時刻を自動で調整する場合に、UTC（協定世界時）との時差を 30 分単位で設定します。 初期値は [00:00] です。

[サマータイム設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [サマータイム設定]

サマータイムを適用するかどうかを選びます。

サマータイムを適用する場合は、サマータイムとして進める時間を入力します。現在設定されている時刻に、サマータイムとして進める時間を足した時刻に切換わります。

初期値は [OFF] です。

[Wi-Fiクリータイマー設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [Wi-Fiクリータイマー設定]

Wi-Fiクリータイマーを使って、自動で節電モードと通常モードを切換えるかどうかを選びます。Wi-Fiクリータイマーを使う場合は、節電モードと通常モードを切換えるスケジュールを設定します。

設定	説明
[使用設定]	Wi-Fiクリータイマーを使うかどうかを選びます。 初期値は「しない」です。
[タイマー予約時刻設定]	節電モードに切換える時刻（[オフ時刻設定]）と、通常モードに復帰する時刻（[オン時刻設定]）を曜日ごとに指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 【一括設定】：すべての曜日に適用する「オフ時刻設定」と「オン時刻設定」を設定できます。 【設定確認】：各曜日の設定状態を確認できます。 初期値はすべての曜日で「オン時刻設定」が6:00、「オフ時刻設定」が20:00です。
[時間外パスワード]	Wi-Fiクリータイマーによって本機が節電モードのときの本機の使用を、パスワードで制限します。 <ul style="list-style-type: none"> 【ON/OFF】：パスワードで制限するかどうかを選びます。初期値は「OFF」です。 【パスワード入力】：パスワードで制限する場合は、使用者に対して要求するパスワードを入力します（8文字以内）。
[OFF時の節電モード]	Wi-Fiクリータイマーによって移行する節電モードを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> 【スリープ】：[ErPオートパワー OFF]よりも節電効果は低いですが、ファクスやコンピューターからの印刷ジョブを受信できます。受信したジョブは、通常モードに復帰したときに印刷します。 【ErPオートパワー OFF】：節電効果の高いモードです。このモードのときは、すべてのジョブを受信できません。 初期値は「スリープ」です。オプションのFAXキットを装着している場合、設定値は「スリープ」固定となります。

[ユーザー操作禁止設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [ユーザー操作禁止設定]

ユーザーに対して、変更や削除の操作を制限するための設定をします。

設定	説明
[登録宛先変更]	ユーザーに対して、宛先の登録や変更を許可するかどうかを選びます。 初期値は「許可」です。

[エキスパート調整]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [エキスパート調整]

印刷画像の不具合の補正を行います。

設定	説明
[プリンター調整]	印刷開始位置や印刷画像の不良を調整します。
[印刷位置：先端]	印刷位置の調整を行う用紙の種類（普通紙、厚紙、厚紙2、封筒）を選びます。用紙を排紙する方向に対して、用紙先端の印刷を開始する位置を用紙の種類ごとに調整します。 初期値は [0] です。
[印刷位置：側端]	印刷位置の調整を行う給紙トレイを選びます。用紙を排紙する方向に対して、用紙左端の印刷を開始する位置を、給紙トレイごとに調整します。 初期値は [0] です。
[両面印刷位置：先端]	印刷位置の調整を行う用紙の種類（普通紙、厚紙、厚紙2）を選びます。両面印刷の裏面を印刷するときに、用紙を排紙する方向に対して、用紙裏面の先端の印刷を開始する位置を用紙の種類ごとに調整します。 初期値は [0] です。
[両面印刷位置：側端]	印刷位置の調整を行う給紙トレイを選びます。両面印刷の裏面を印刷するときに、用紙を排紙する方向に対して、用紙左端の印刷を開始する位置を、給紙トレイごとに調整します。 初期値は [0] です。
[メディア調整]	用紙種類の特性により、印刷画像に不良（白抜け、白斑点、ザラツキ）が発生した場合に、用紙の種類ごとに不良を調整します。 <ul style="list-style-type: none"> [1面目]：片面印刷または両面印刷の表面に画像不良がある場合に選択します。不良を調整する用紙の種類を選び、調整を行います。 [2面目]：両面印刷の裏面に画像不良がある場合に選択します。不良を調整する用紙の種類を選び、調整を行います。 設定後にコピーまたは印刷を行い、必要に応じて調整を繰り返してください。
[画像調整パラメータ]	画像調整のパラメーターを調整します。 初期値は [0] です。
[濃度補正]	厚紙に印刷するときや、1200 dpi で印刷するときの画像の濃度を印刷色ごとに調整します。 数値が大きいほど濃度が濃くなります。 初期値は [0] です。
[モノクロ画像濃度補正]	モノクロで印字される画像の濃度を調整します。 数値が大きいほど濃度が濃くなります。 初期値は [0] です。
[マニュアル主倍補正]	主走査方向の倍率を色ごとに調整します。 初期値は [0] です。
[マニュアル主倍補正印刷]	主走査方向の倍率を調整するためのテストパターンを印刷します。
[細線調整]	細線調整（メンテナンス）のパラメーターを調整します。 初期値は [0] です。
[印刷メニュー]	エラーログ情報やハーフトーンパターンを印刷します。
[エラーログ情報]	エラー履歴や消耗品交換履歴などのイベントログを印刷します。
[ハーフトーン 64]	濃度 25% のハーフトーンパターンを各色ごとに印刷します。
[ハーフトーン 128]	濃度 50% のハーフトーンパターンを各色ごとに印刷します。
[ハーフトーン 256]	濃度 100% のハーフトーンパターンを各色ごとに印刷します。
[グラデーション]	グラデーションパターンを印刷します。
[ライフ]	消耗品の交換に関する設定をします。
[新品解除]	定着ユニット、転写ベルトユニット、転写ローラーユニットを交換後、カウンター値をリセットします。

[リスト／カウンター]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [リスト／カウンター]

本機の設定値リストを印刷したり、用紙の使用カウントについて設定したりします。

設定	説明
[設定値リスト]	本機の [ユーザー設定] や [管理者設定] などの設定値を記載したリストを印刷します。 [印刷する] を選択し、選択を押すと印刷できます。
[通信管理ジャーナル]	送信や受信の記録が記載されたレポートを印刷します。 [印刷する] を選択し、選択を押すと印刷できます。
[使用管理カウンタリスト]	カウンター情報が記載されたレポートを印刷します。 [印刷する] を選択し、選択を押すと印刷できます。
[スキャン送信レポート]	スキャン送信の記録が記載されたレポートを印刷します。 [印刷する] を選択し、選択を押すと印刷できます。

[優先給紙トレイ]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [優先給紙トレイ]

最優先で使用するトレイを選びます。

同じサイズの用紙を複数のトレイにセットしている場合は、最優先で使用するトレイから給紙します。

初期値は [トレイ 1] です。

[リセット設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [リセット設定]

本機を一定時間操作しなかったときに、現在表示している機能や設定をリセットするかどうかを選びます。

設定	説明
[システムオートリセット]	本機を一定時間操作しなかったとき、入力したすべての設定（登録した設定は除く）をリセットするかどうかを選びます。
[優先機能]	リセット後に優先して表示する機能を選びます。 初期値は [コピー] です。
[ON/OFF]	システムオートリセットを有効にするかどうかを選びます。 初期値は [ON] です。
[リセット時間]	リセットするまでの時間を入力します。 初期値は [1] 分です。
[オートリセット]	本機を一定時間操作しなかったとき、コピー、スキャン、ファックスの機能ごとに、入力したすべての設定（登録した設定は除く）をリセットするかどうかを選びます。
[コピー]	コピー機能のオートリセットを有効にするかどうかを選びます。初期値は [ON] です。 リセットする場合は、リセットするまでの時間を設定します。初期値は [1] 分です。
[スキャン]	スキャン送信機能のオートリセットを有効にするかどうかを選びます。初期値は [ON] です。 リセットする場合は、リセットするまでの時間を設定します。初期値は [1] 分です。
[ファックス]	ファックス機能のオートリセットを有効にするかどうかを選びます。初期値は [ON] です。 リセットする場合は、リセットするまでの時間を設定します。初期値は [1] 分です。

[フォルダー設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [フォルダー設定]

ハードディスクに保存したファイルを自動的に削除するまで時間の設定や、USB メモリーの使用に関する設定をします。

設定	説明
[文書削除時間設定]	ハードディスクにファイルを保存した日時から、自動的に削除するまでの時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日数で指定する場合は、[時間設定] で [1 日] / [2 日間] / [3 日間] / [7 日間] / [30 日間] から選びます。 ・ 時間で指定する場合は、[時間設定] で [カスタム] を選んでから、[カスタム設定] で 5 分～720 分の間で入力します（1 分単位）。 ・ ファイルを残す場合は、[時間設定] で [削除しない] を選びます。初期値は [1 日] です。
[外部メモリー機能設定]	USB メモリーからのファイルの印刷、USB メモリーへのファイルの保存を許可するかどうかを設定します。
[外部メモリ保存禁止]	USB メモリーへのファイルの保存を禁止するかどうかを選びます。初期値は [OFF] です。
[文書印刷]	USB メモリーからのファイルの印刷を許可するかどうかを選びます。初期値は [ON] です。



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

6.2 [管理者 / 本体登録]

[管理者登録]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [管理者 / 本体登録] - [管理者登録]

本機の管理者の名前やメールアドレス、内線番号を登録します。

設定	説明
[名前]	本機の管理者の名前を入力します（20 文字以内）。
[E-mail アドレス]	本機の管理者のメールアドレスを入力します（320 文字以内）。
[内線番号]	本機の管理者の内線番号を入力します（8 衔以内）。

[本体アドレス登録]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [管理者 / 本体登録] - [本体アドレス登録]

本機の装置名とメールアドレスを登録します。

設定	説明
[装置名]	本機の名前を入力します（10 文字以内）。 [装置名] は、スキャン送信する場合などに、自動で命名されるファイル名の一部となります。
[E-mail アドレス]	本機のメールアドレスを入力します（320 文字以内）。 E-mail 送信機能をお使いになる場合は、設定が必要です。

6.3 [宛先登録リスト]

[短縮宛先リスト]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [宛先登録リスト] - [短縮宛先リスト]

本機に登録されている短縮宛先の情報を記載したリストを印刷します。印刷する短縮宛先の種類（E-mail、ファクス、SMB、FTP）を指定したあと、印刷条件を指定し、印刷を開始します。

設定	説明
[印刷開始番号]	印刷を開始する宛先の登録番号を指定します。
[出力件数]	印刷する宛先の件数を指定します。
[印刷]	[印刷開始番号] と [出力件数] で指定した条件でリストを印刷します。 [印刷する] を選択し、選択を押すと印刷できます。

[グループ宛先リスト]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [宛先登録リスト] - [グループ宛先リスト]

本機に登録されているグループ宛先の情報を記載したリストを印刷します。印刷条件を指定し、印刷を開始します。

設定	説明
[印刷開始番号]	印刷を開始する宛先の登録番号を指定します。
[出力件数]	印刷する宛先の件数を指定します。
[印刷]	[印刷開始番号] と [出力件数] で指定した条件でリストを印刷します。 [印刷する] を選択し、選択を押すと印刷できます。

[プログラム宛先リスト]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [宛先登録リスト] - [プログラム宛先リスト]

本機に登録されているプログラム宛先の情報を記載したリストを印刷します。印刷するプログラム宛先の種類（E-mail、ファクス、SMB、FTP、短縮宛先、グループ）を指定したあと、印刷条件を指定し、印刷を開始します。

設定	説明
[印刷開始番号]	印刷を開始するプログラムの登録番号を指定します。
[出力件数]	印刷するプログラムの件数を指定します。
[印刷]	[印刷開始番号] と [出力件数] で指定した条件でリストを印刷します。 [印刷する] を選択し、選択を押すと印刷できます。

[件名 / 本文リスト]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [宛先登録リスト] - [件名 / 本文リスト]

本機に登録されている E-mail の件名と本文を記載したリストを印刷します。

[印刷する] を選択し、選択を押すと印刷できます。

6.4 [ネットワーク設定]

[TCP/IP 設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP 設定]

TCP/IP 環境に接続して使うための設定をします。

設定	説明
[有効]	TCP/IP を使うかどうかを選びます。 初期値は [ON] です。
[IPv4 設定]	本機に IP アドレス (IPv4) を割当てます。
[IP アドレス]	IP アドレスを手動設定する場合に、固定の IP アドレスを入力します。
[サブネットマスク]	IP アドレスを手動設定する場合に、サブネットマスクを入力します。
[デフォルトゲートウェイ]	IP アドレスを手動設定する場合に、デフォルトゲートウェイを入力します。
[IP 確定方法]	IP アドレスを自動設定する場合に、自動取得の方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [DHCP 設定]：初期値は [ON] です。 ・ [BOOTP 設定]：初期値は [OFF] です。 ・ [ARP/PING 設定]：初期値は [OFF] です。 ・ [AUTO IP 設定]：[有効] 固定です。
[IPv6 設定]	本機に IP アドレス (IPv6) を割当てます。
[有効]	IPv6 を使うかどうかを選びます。 初期値は [ON] です。
[IPv6 自動設定]	本機の IPv6 グローバルアドレスを自動で割当てるかどうかを選びます。 [使用する] を選ぶと、ルーターから通知されるプレフィックス長と本機の MAC アドレスから、IPv6 グローバルアドレスを自動で割当てます。 初期値は [使用する] です。
[グローバルアドレス]	IPv6 アドレスを手動設定する場合に、IPv6 グローバルアドレスを入力します。
[ゲートウェイアドレス]	IPv6 アドレスを手動設定する場合に、ゲートウェイアドレスを入力します。
[リンクローカルアドレス]	本機の MAC アドレスから自動的に設定されたリンクローカルアドレスを表示します。
[DNS ホスト]	DNS サーバーをお使いの場合に、DNS に関する設定をします。
[Dynamic DNS 設定]	Dynamic DNS 機能を有効にするかどうかを選びます。 お使いの DNS サーバーが Dynamic DNS 機能をサポートしている場合に [有効] を選ぶと、設定したホスト名を DNS サーバーに自動で登録したり、変更内容を自動で更新したりできます。 初期値は [無効] です。
[IPSec 設定]	IPsec を使うかどうかを設定します。 IPsec の詳細な設定は、Web Connection で行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。 初期値は [使用しない] です。
[IP 許可設定]	本機へのアクセスを許可する IP アドレスを指定してアクセス制限を行うかどうかを選びます。 IP アドレスの指定は、Web Connection で行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。 初期値は [無効] です。
[IP 拒否設定]	本機へのアクセスを拒否する IP アドレスを指定してアクセス制限を行うかどうかを選びます。 IP アドレスの指定は、Web Connection で行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。 初期値は [無効] です。

設定	説明
[RAW ポート設定]	Port9100 印刷で使う RAW ポートの設定をします。
[有効]	RAW ポートを使うかどうかを選びます。 初期値は [はい] です。
[双方向設定]	RAW ポートの双方向通信を有効にするかどうかを選びます。 初期値は [OFF] です。

[http サーバー設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [http サーバー設定]
本機の HTTP サーバー機能に関する設定をします。

設定	説明
[http サーバー設定]	本機を HTTP サーバーとして使うかどうかを選びます。 [無効] を選ぶと、Web Connection が利用できなくなります。 初期値は [有効] です。
[IPP 設定]	IPP を使うかどうかを選びます。 初期値は [有効] です。

[FTP 設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [FTP 設定]
本機を FTP サーバーとして使うかどうかを選びます。
初期値は [有効] です。

[E-mail 設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [E-mail 設定]
本機の E-mail 送信機能に関する設定をします。

設定	説明
[E-mail 送信 (SMTP)]	本機から E-mail を送信するかどうかを選びます。 初期値は [有効] です。

[SNMP 設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [SNMP 設定]
SNMP (Simple Network Management Protocol) を使うかどうかを設定します。
初期値は [使用する] です。

[Bonjour 設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [Bonjour 設定]

Mac OS 環境でお使いの場合に、Bonjour を使うかどうかを設定します。

本機で Bonjour を有効にすると、コンピューターが、ネットワークに接続された本機を自動的に検出し、追加可能なプリンターとして一覧表示します。

初期値は [有効] です。

[DPWS 設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [DPWS 設定]

Web サービス (DPWS : Devices Profile for Web Services) を使うかどうかを設定します。

設定	説明
[DPWS 設定]	WS 印刷機能を使うかどうかを選びます。 初期値は [使用する] です。

[詳細設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定]

ネットワークに関する詳細な設定をします。

設定	説明
[デバイス設定]	ネットワーク速度の設定をします。
[ネットワーク速度]	お使いの環境に合わせて、ネットワークの速度を選びます。 初期値は [自動] です。
[SLP 設定]	SLP (Service Location Protocol) を有効にするかどうかを選びます。 初期値は [有効] です。

[IEEE802.1x 認証設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IEEE802.1x 認証設定]

IEEE802.1X 認証を使うかどうかを選びます。

IEEE802.1X 認証 の詳細な設定は、Web Connection で行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 應用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。

初期値は [使用しない] です。

[AirPrint 設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [AirPrint 設定]

AirPrint 対応端末から印刷するための設定をします。

設定	説明
[使用設定]	AirPrint を使うかどうかを選びます。 AirPrint の印刷ジョブを受信する場合は、[使用する] を選択します。 初期値は [使用しない] です。
[タイムアウト]	通信のタイムアウト時間を入力します。 初期値は [60] 秒です。



AirPrint 機能を有効にしたあと、以下のいずれかの機能を無効に変更すると、連動して AirPrint 機能も無効となります。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [http サーバー設定] - [http サーバー設定]
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [http サーバー設定] - [IPP 設定]
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [Bonjour 設定]
- Web Connection の管理者モードの [ネットワーク] - [IPP 設定] - [IPP ジョブの受信]



オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

[拡張ネットワーク設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [拡張ネットワーク設定]

本機を無線ネットワーク環境に接続して使うための設定をします。

設定	説明
[ネットワークインターフェース構成]	本機をネットワーク接続するときの動作モードを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> • [有線のみ]：本機を有線 LAN 環境に接続して使用する場合に選びます。 • [無線（子機モード）]：本機を無線 LAN アクセスポイントの子機として使用する場合に選びます。 • [無線（親機モード）]：本機を無線 LAN アクセスポイントとして使用する場合に選びます。本機を有線 LAN 環境に接続し、無線接続と併用することもできます。 • [無線（Wi-Fi Direct）]：本機を無線 LAN Direct のグループオーナーとして使用する場合に選びます。 初期値は [有線のみ] です。
[AP モード設定]	[ネットワークインターフェース構成] で [無線（親機モード）] または [無線（Wi-Fi Direct）] を選んだ場合に、本機を無線 LAN アクセスポイントとして使用するための設定をします。
[SSID]	本機の SSID を入力します（32 文字以内）。 [ネットワークインターフェース構成] で [無線（親機モード）] を選んだ場合は、アクセスポイントの SSID となります。 [ネットワークインターフェース構成] で [無線（Wi-Fi Direct）] を選んだ場合は、Wi-Fi Direct 接続用の SSID となります。Wi-Fi Direct に対応した端末の Wi-Fi Direct（設定）画面には、ここで設定した SSID が表示されます。Wi-Fi Direct（設定）画面から SSID を指定して本機に接続できない場合は、Wi-Fi（設定）画面から [仮想 SSID] を指定して接続してください。

設定	説明
[暗号化アルゴリズム]	<p>認証または暗号化に使用するアルゴリズムに関する設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> [アルゴリズム選択]：認証または暗号化に使用するアルゴリズムを選びます。初期値は「認証・暗号化なし」です。 [WEP キー設定]：[アルゴリズム選択] で [WEP] を選んだ場合に、WEP キーの設定を行います。 [キー入力方式]：WEP キーの入力方法を選びます。 [使用キー設定]：WEP キーを入力します。複数の WEP キーを登録した場合は、どのキーを使用するかを選びます。 [パスフレーズ設定]：[アルゴリズム選択] で [WEP] 以外のアルゴリズムを選んだ場合に、パスフレーズの設定を行います。 [キー入力方式]：パスフレーズの入力方法を選びます。 [パスフレーズ]：パスフレーズを入力します。 [パスフレーズ自動更新]：パスフレーズを自動的に更新するかどうかを設定します。初期値は「する」です。 [更新間隔]：パスフレーズの更新間隔を指定します。初期値は [60 分] です。
[20/40MHz 自動切換]	40MHz を使用して高速通信を試みる場合は「[使用する]」を選びます。初期値は「[使用しない]」です。
[無線チャンネル設定]	無線 LAN のチャンネルを設定します。初期値は「[自動]」です。
[ANY 接続]	ANY 接続を許可するかどうかを選びます。 [ネットワークインタフェース構成] で「[無線 (親機モード)]」を選んだ場合に表示されます。 初期値は「[許可]」です。
[MAC アドレスフィルタリング]	アクセスポイントに接続できる無線子機を MAC アドレスで制限します。 アクセスポイントに接続できる無線子機の MAC アドレスを入力します。最大 16 台の機器の MAC アドレスを登録できます。 [ネットワークインタフェース構成] で「[無線 (親機モード)]」を選んだ場合に表示されます。
[DHCP サーバー設定]	DHCP サーバー機能を使用するための設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> [使用設定]：DHCP サーバー機能を有効にするかしないかを選択します。初期値は「[有効]」です。 [IPv4 リースアドレス]：[使用設定] で「[有効]」を選んだ場合に、DHCP サーバーがリースする IPv4 アドレスの範囲を設定します。 [サブネットマスク]：[使用設定] で「[有効]」を選んだ場合に、サブネットマスクを入力します。 [リース期間]：[使用設定] で「[有効]」を選んだ場合に、リースする期間を指定します。初期値は「[4294967295]」秒です。
[同時接続台数設定]	アクセスポイントへの同時接続台数を入力します。初期値は「[5]」台です。
[電波強度設定]	アクセスポイントの電波強度を 3 段階（[弱い]、[中]、[強い]）から選びます。初期値は「[強い]」です。
[接続子機表示]	アクセスポイントに接続している無線子機の MAC アドレスの一覧を表示します。
[仮想 SSID]	[ネットワークインタフェース構成] で「[無線 (Wi-Fi Direct)]」を選んだ場合に、自動生成された仮想 SSID が表示されます。 Wi-Fi Direct に未対応の端末を本機に接続する場合に利用します。Wi-Fi Direct に未対応の端末の Wi-Fi (設定) 画面には、仮想 SSID が表示されます。仮想 SSID は、「DIRECT-XXXXXX」(XXXXXX はランダムな英数字と [SSID] の設定値の組合せ) で表示されます。
[TCP/IP] - [IPv4 設定]	本機で IPv4 を使用して無線ネットワークに接続する場合に、IPv4 の設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> [IP アドレス]：本機に用意した固定 IP アドレスを入力します。 [サブネットマスク]：サブネットマスクを入力します。
[TCP/IP] - [IPv6]	本機で IPv6 を使用して無線ネットワークに接続する場合に、IPv6 の設定を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> [リンクローカルアドレス]：リンクローカルアドレスを表示します。リンクローカルアドレスは、本機の MAC アドレスから自動的に設定されます。

設定	説明
[無線子機設定]	[ネットワークインターフェース構成] で [無線 (子機モード)] を選んだ場合に、本機を無線子機として使用するための設定をします。
[簡易設定 (WPS)]	<p>接続に必要な情報をアクセスポイントから自動的に取得するための設定をします。</p> <p>アクセスポイントが WPS 機能に対応している必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> [プッシュボタン方式] : [プッシュボタン方式] を選ぶと、アクセスポイントへの接続を試みます。アクセスポイントで WPS 設定用のボタンを押すと、SSID やセキュリティなど、接続に必要な設定を自動的に行います。 [PIN 方式] : [PIN 方式] を選ぶと、PIN コードが表示されます。表示された PIN コードをアクセスポイントで入力すると、SSID やセキュリティなど、接続に必要な設定を自動的に行います。
[手動設定]	<p>認証または暗号化に使用するアルゴリズムに関する設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> [SSID] : 本機が接続する無線 LAN アクセスポイントの SSID を入力します (32 文字以内)。 [アクセスポイント一覧] : 検出した無線 LAN アクセスポイントの一覧を表示します。 [暗号化アルゴリズム] : 認証または暗号化に使用するアルゴリズムを選びます。 [アルゴリズム選択] : 認証または暗号化に使用するアルゴリズムを選びます。 [WEP キー設定] : [アルゴリズム選択] で [WEP] を選んだ場合に、WEP キーの設定を行います。 [キー入力方式] : WEP キーの入力方法を選びます。 [使用キー設定] : WEP キーを入力します。複数の WEP キーを登録した場合は、どのキーを使用するかを選びます。 [パスフレーズ設定] : [アルゴリズム選択] で [WEP]、[802.1X] 以外のアルゴリズムを選んだ場合に、パスフレーズの設定を行います。 [キー入力方式] : パスフレーズの入力方法を選びます。 [パスフレーズ] : パスフレーズを入力します。 • [20/40MHz 自動切換] : 40MHz を使用して高速通信を試みる場合は [使用する] を選びます。初期値は [使用しない] です。
[接続状態]	本機が接続しているアクセスポイントの確認や、アクセスポイントの電波強度、現在の通信速度などを確認できます。



参考

- [拡張ネットワーク設定] を表示するには、オプションのネットワークカードと取付けキットが必要です。
- 本機を無線子機として使用する場合、有線ネットワークは使用できません。
- 本機を無線 LAN アクセスポイントとして使用する場合、本機と通信できる機器は、コンピューターとモバイル端末のみです。また、本機に同時に接続できる機器の台数は、5 台までです。
- 本機を無線 LAN アクセスポイントとして使用するときの無線ネットワークのネットワークアドレスは、基幹ネットワークのネットワークアドレスとは異なるネットワークアドレスを設定してください。同じネットワークアドレスを設定すると、本機から基幹ネットワークへの送信ができなくなります。

6.5 [プリンター設定]

[スタートページ設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [プリンター設定] - [スタートページ設定]

本機の電源を入れたときに、スタートページを印刷するかどうかを選びます。

初期値は [OFF] です。

[自動継続]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [プリンター設定] - [自動継続]

プリントジョブの用紙サイズおよび用紙種類と、給紙トレイの用紙サイズおよび用紙種類とが異なる場合に、印刷を継続するかどうかを選びます。

初期値は [OFF] です。

[用紙設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [プリンター設定] - [用紙設定]

通常使用する用紙を指定します。

設定	説明
[用紙種類]	使用する用紙の種類を選びます。 初期値は [普通紙] です。
[用紙サイズ]	定形サイズの用紙を使用する場合に、使用する用紙のサイズを選びます。 不定形サイズの用紙を使用する場合は、使用する用紙の幅と長さを入力します。 初期値は [A4] です。

[単位系設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [プリンター設定] - [単位系設定]

通常使用する用紙の単位系を [mm] または [インチ] から選びます。

初期値は [mm] です。

[ジョブ保持タイムアウト]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [プリンター設定] - [ジョブ保持タイムアウト]

ハードディスク内にプリントジョブを保持する時間を設定します。

- [1 時間] / [4 時間] / [1 日] / [1 週間] から選びます。
- プリントジョブを保持しない場合は、[保持しない] を選びます。

初期値は [保持しない] です。

[画質設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [プリンター設定] - [画質設定]

印刷画像の画質を調整します。

設定	説明
[カラー設定]	カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するかを選びます。 初期値は [カラー] です。
[明度]	印刷画像の明るさを調整します。 初期値は [0] です。
[ハーフトーン]	[イメージ印刷]、[文字印刷]、[グラフィック印刷] のカテゴリーごとに、ハーフトーンの処理方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> [ラインアート]：高精密に中間色を再現します。 [詳細]：詳細に中間色を再現します。 [スムージング]：なめらかに中間色を再現します。 初期値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> [イメージ印刷]：[詳細] [文字印刷]：[ラインアート] [グラフィック印刷]：[詳細]
[エッジ強調]	[イメージ印刷]、[文字印刷]、[グラフィック印刷] のカテゴリーごとに、エッジ部分を強調するかどうかを選びます。 初期値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> [イメージ印刷]：[OFF] [文字印刷]：[ON] [グラフィック印刷]：[ON]
[エッジ強度]	エッジ部分を強調する場合に、エッジ部分を強調する度合いを選びます。 初期値は [中] です。
[エコノミー印刷]	印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約した印刷を行うかどうかを選びます。 初期値は [OFF] です。
[PCL 設定]	PCL 印刷の画質を調整します。
[コントラスト]	印刷画像のコントラストを調整します。 初期値は [0] (中間) です。
[イメージ印刷]	RGB のイメージデータの処理方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> [RGB ソース]：入力 RGB の色空間を指定します。初期値は [sRGB] です。 [RGB 特性]：入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。初期値は [写真調] です。 [RGB グレー再現]：黒、グレーの印刷方法を指定します。初期値は [ブラック =K グレー =K] です。
[文字印刷]	RGB の文字データの処理方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> [RGB ソース]：入力 RGB の色空間を指定します。初期値は [sRGB] です。 [RGB 特性]：入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。初期値は [鮮やか] です。 [RGB グレー再現]：黒、グレーの印刷方法を指定します。初期値は [ブラック =K グレー =K] です。
[グラフィック印刷]	RGB のグラフィックデータの処理方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> [RGB ソース]：入力 RGB の色空間を指定します。初期値は [sRGB] です。 [RGB 特性]：入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。初期値は [鮮やか] です。 [RGB グレー再現]：黒、グレーの印刷方法を指定します。初期値は [ブラック =K グレー =K] です。

設定	説明
[PS 設定]	PS 印刷の画質を調整します。
[イメージ印刷]	RGB のイメージデータの処理方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> [RGB ソース] : 入力 RGB の色空間を指定します。初期値は [sRGB] です。 [RGB 特性] : 入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。初期値は [写真調] です。 [RGB グレー再現] : 黒、グレーの印刷方法を指定します。初期値は [ブラック =K グレー =K] です。 [出力プロファイル] : 出力プロファイルを指定します。本機へのプロファイルの登録は、Web Connection から行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をご覧ください。初期値は [自動] です。
[文字印刷]	RGB の文字データの処理方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> [RGB ソース] : 入力 RGB の色空間を指定します。初期値は [sRGB] です。 [RGB 特性] : 入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。初期値は [鮮やか] です。 [RGB グレー再現] : 黒、グレーの印刷方法を指定します。初期値は [ブラック =K グレー =K] です。 [出力プロファイル] : 出力プロファイルを指定します。本機へのプロファイルの登録は、Web Connection から行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をご覧ください。初期値は [自動] です。
[グラフィック印刷]	RGB のグラフィックデータの処理方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> [RGB ソース] : 入力 RGB の色空間を指定します。初期値は [sRGB] です。 [RGB 特性] : 入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。初期値は [鮮やか] です。 [RGB グレー再現] : 黒、グレーの印刷方法を指定します。初期値は [ブラック =K グレー =K] です。 [出力プロファイル] : 出力プロファイルを指定します。本機へのプロファイルの登録は、Web Connection から行います。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をご覧ください。初期値は [自動] です。
[シミュレーション]	シミュレーションに関する設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> [シミュレーションプロファイル] : 入力 CMYK のシミュレーションプロファイルを選びます。初期値は [なし] です。 [シミュレーション特性] : シミュレーションを実施するときの色変換特性を指定します。初期値は [相対色] です。 [CMYK グレー再現] : シミュレーションを実施するときの CMYK 入力データにおける K 版の印刷方法を指定します。初期値は [ブラック =グレー =CMYK] です。
[階調補正]	印刷画像の色の再現が悪くなったときに、色階調を調整します。
[濃度補正]	濃度補正を有効にするかどうかを選びます。 初期値は [ON] です。
[CMYK 濃度調整]	各色のハイライト部、中間部、シャドウ部の濃度を調整します。 初期値はすべて [0] です。
[画像安定化]	本機内部の読み取り部分のずれや傾きなどを補正します。 [600dpi] または [1200dpi] を選択すると、画像安定化処理が実行されます。
[色分解]	色分解を有効にするかどうかを選びます。色分解を有効にすると、1 ページを CMYK の色要素に分割して黒で 4 ページ印刷します。 初期値は [OFF] です。

[エミュレーション]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [プリンター設定] - [エミュレーション]

プリンター言語やフォントの初期値を設定します。

設定	説明
[優先エミュレーション]	ページ記述言語 (Page Description Language) を選びます。[自動] を選ぶと、PCL と PS を自動で切替えます。 初期値は [自動] です。
[PS 設定]	PS 印刷に関する設定をします。
[ウェイトタイムアウト時間]	PS エラーと判断してタイムアウトするまでの時間を設定します。 [0] を選ぶと、タイムアウトしません。 初期値は [0] 秒です。
[PS エラー印刷]	PS のラスタライズ中にエラーが発生した場合、エラー情報を印刷するかどうかを選びます。 初期値は [OFF] です。
[PS プロトコル]	PS データの通信で使用するプロトコルを選びます。 [自動] を選ぶと、適切なプロトコルを PS プリントジョブから自動的に決定します。 初期値は [自動] です。
[自動トラッピング]	自動トラッピングを有効にするかどうかを選びます。 自動トラッピングを有効にすると、絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣合う色を重ねて印刷します。 初期値は [OFF] です。
[ブラックオーバープリント]	ブラックオーバープリントを有効にするかどうかを選びます。 ブラックオーバープリントを有効にすると、黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣合う色に黒を重ねて印刷します。 <ul style="list-style-type: none"> [文字 / 図]：文字部分と図形部分の両方で、隣合う色に黒を重ねて印刷します。 [文字]：文字部分のみ隣合う色に黒を重ねて印刷します。 初期値は [OFF] です。
[PCL 設定]	PCL 印刷に関する設定をします。
[CR/LF マッピング]	テキストデータを印刷するとき、改行コードを置換えるかどうかを選びます。 改行コードを置換える場合は、置換え方法を選びます。 初期値は [CR=CR LF=LF] です。
[ライン / ページ]	テキストデータを印刷するときの、1 ページに印刷するライン数を入力します。 初期値は [60] です。
[フォント設定]	PCL で使用するフォントに関する設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> [フォント番号]：デフォルトフォントを設定します。表示されるフォント番号は PCL フォントリストに対応しています。初期値は [0] です。 [ピッチサイズ]：フォントのピッチサイズを設定します。初期値は [10.00] ピッチです。 [ポイントサイズ]：フォントのポイントサイズを設定します。初期値は [12.00] ポイントです。 [シンボルセット]：使用するフォントシンボルセットを選びます。初期値は [PC8] です。
[バーコードフォント設定]	バーコードフォントに関する設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> [線幅]：バーコードフォントの線幅を設定します。初期値は [0] です。 [スペース幅]：バーコードフォントのスペース幅を設定します。初期値は [0] です。
[XPS/OOXML 設定]	XPS/OOXML (docx、xlsx、pptx) ファイルをダイレクト印刷するときに、デジタル署名の検証や、エラー情報の印刷を行うかどうかを設定します。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
[デジタル署名検証]	デジタル署名が付加された XPS/OOXML (docx、xlsx、pptx) ファイルを印刷するときに、デジタル署名を検証するかどうかを選びます。 [ON] を選ぶと、署名が無効なときは印刷しません。 初期値は [OFF] です。
[エラー印刷]	XPS/OOXML (docx、xlsx、pptx) ファイルの印刷中にエラーが発生した場合、エラー情報を印刷するかどうかを選びます。 初期値は [印刷する] です。

[レターヘッド両面印刷]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [プリンター設定] - [レターヘッド両面印刷]

レターヘッド紙への両面印刷を許可するかどうかを選びます。

初期値は [禁止] です。



参考

レターヘッド紙への両面印刷を許可する場合、用紙種類が普通紙のレターヘッド紙を使用してください。また、レターヘッド紙を以下のようにトレイにセットしてください。

- トレイ 1 にレターヘッド紙をセットするときは、社名や定型文などが印刷された面を下向きにセットしてください。
- 手差しトレイにレターヘッド紙をセットするときは、社名や定型文などが印刷された面を上向きにセットしてください。

[レターヘッド紙セット方向]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [プリンター設定] - [レターヘッド紙セット方向]

縦向きのレターヘッド紙をトレイにセットするときの、給紙口に対する用紙の向きを選択します。

- [後端を合わせる]：縦向きのレターヘッド紙の後端が、トレイの給紙口側になるようにセットします。
- [先端を合わせる]：縦向きのレターヘッド紙の先端が、トレイの給紙口側になるようにセットします。

初期値は [後端を合わせる] です。

6.6 [ファクス設定]

[発信元 / ファクス ID 登録]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [発信元 / ファクス ID 登録]

ファクスを送信するときに、発信元情報として印字する本機の名前や会社名（発信元名）と、ファクス番号を登録します。

設定	説明
[発信元]	発信元情報として印字する本機の名前や会社名（発信元名）を入力します（30 バイト以内）。
[ファクス ID]	本機のファクス番号を入力します（数字 20 桁以内、記号は +、スペース）。入力したファクス番号は発信元情報として印字されます。

[発信元 / 受信情報]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [発信元 / 受信情報]

送信するファクスに印字する発信元情報の印字のしかたを設定します。また、本機で受信したファクスに受信情報（受信日時、受信番号）を印字するかどうかを選びます。

設定	説明
[発信元情報]	送信するファクスに印字する発信元情報の位置を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> 【原稿内】：原稿画像の内側に発信元情報を印字します。原稿画像の一部が欠けることがあります。 【原稿外】：原稿画像の外側に発信元情報を印字します。 【OFF】：発信元情報は印字しません。 初期値は【原稿外】です。
[発信元情報印字領域]	発信元情報を印字するときの文字のサイズを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> 【通常】：通常の文字のサイズで発信元情報を印字します。 【小さめ】：【通常】に対して、文字の高さが 1/2 になります。受信側で印刷されたファクスの画像が欠けたり、ページが分割されたりすることを防ぐため、【小さめ】に設定することをおすすめします。 初期値は【通常】です。
[相手先印字]	発信元情報として送信先のファクス番号を印字するかどうかを選びます。 【OFF】を選ぶと、送信先のファクス番号に代えて、本機のファクス番号を印字します。 初期値は【ON】です。
[受信情報]	本機で受信したファクスに対して、受信情報（受信日時、受信番号）を印字するかどうかを選びます。印字する場合は、受信情報を印字する位置を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> 【本文中テキスト】：原稿画像の内側に受信情報を印字します。原稿画像の一部が欠けることがあります。 【原稿外】：原稿画像の外側に受信情報を印字します。 【OFF】：受信情報は印字しません。 初期値は【OFF】です。

[回線パラメーター設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定]

電話回線の種類（ダイアル方式）や、ファクスの受信方式など、本機でファクス機能を使うための環境を設定します。

設定	説明
[ダイアル方式]	お使いの環境に合わせて、回線の種類を選びます。 初期値は「[20pps]」です。
[受信方式]	ファクスの受信方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> 「[自動受信]」：送信元がファクスのときは自動的に受信を開始します。 「[手動受信]」：手動でファクスの受信を指示します。本機に電話機を接続してお使いの場合に、電話を使う機会が多く、かつファクスも常に手動で受信したいときに選びます。 初期値は「[自動受信]」です。
[着信回数設定]	ファクスを自動受信する場合に、必要に応じて、受信を開始するまでの呼出音の回数を変更します。 初期値は「[2]」です。
[オートリダイアル回数]	ファクスを正常に送信できなかった場合、本機は一定時間経過後に自動的にリダイアルします。必要に応じて、リダイアルの回数を変更します。 初期値は「[3回]」です。
[オートリダイアル間隔]	「[オートリダイアル回数]」を設定したときに、必要に応じて、リダイアルの間隔を変更します。 初期値は「[3分]」です。
[TEL/FAX自動切換え]	本機に電話機を接続してお使いの場合に、TEL/FAX自動切換え機能を使うかどうかを選びます。 [ON] にすると、着信がファクスなのか電話なのかを自動的に検知し、着信がファクスのときは、自動的にファクスの受信を開始します。 初期値は「[OFF]」です。
[TEL/FAX切換音声]	「[TEL/FAX自動切換え]」で「[ON]」を選んだ場合に、TEL/FAX切換え時に音声メッセージを流すかどうかを選びます。 初期値は「[OFF]」です。
[外部TEL呼出モニター音]	「[TEL/FAX自動切換え]」で「[ON]」を選んだ場合に、電話機の回線上の音をスピーカーから鳴らすかどうかを選びます。 初期値は「[OFF]」です。
[外部TEL呼出時間]	「[TEL/FAX自動切換え]」で「[ON]」を選んだ場合に、必要に応じて、電話機の呼出音を鳴らす時間の長さを変更します。 初期値は「[20]」秒です。
[外部電話切離し]	本機に電話機を接続してお使いの場合に、ファクスの着信時に電話機を鳴らすかどうかを選びます。 [ON] にすると、ファクスの着信時には電話機は鳴りません。 初期値は「[OFF]」です。
[留守番電話接続設定]	本機に電話機を接続してお使いの場合に、留守番電話機能を使うかどうかを選びます。 [ON] にすると、着信がファクスなのか電話なのかを自動的に検知し、着信がファクスのときは自動的にファクスの受信を開始します。電話のときは留守番電話メッセージを再生します。 初期値は「[OFF]」です。
[回線モニター音]	ファクス通信時に回線上の通信音をモニターするかどうかを選びます。 初期値は「[OFF]」です。
[回線モニター音レベル送信]	本機が出す音をモニターします。モニター音は0～8の範囲で設定します。この機能は「[回線モニター音]」を「[接続完了まで]」または「[通信終了まで]」に設定したときだけ有効となります。 初期値は「[3]」です。
図 ひとこと ファクス通信を行う場合、本機と相手機双方が送受信音を発するため、本機で送信・受信どちらかのモニター音を「[0]」に設定しても、モニター音を消すことはできません。モニター音を消したい場合は、「[回線モニター音レベル(送信)]」と「[回線モニター音レベル(受信)]」の両方を「[0]」に設定するか、「[回線モニター音]」を「[OFF]」に設定してください。	

設定	説明
[回線モニター音レベル受信]	<p>相手機（交換機やTAも含む）が送出する音をモニターします。モニター音は0～8の範囲で設定します。</p> <p>この機能は「[回線モニター音]」を「[接続完了まで]」または「[通信終了まで]」に設定したときだけ有効となります。</p> <p>初期値は「[4]」です。</p> <p>○ひとこと ファクス通信を行う場合、本機と相手機双方が送受信音を発するため、本機で送信・受信どちらかのモニター音を「[0]」に設定しても、モニター音を消すことはできません。モニター音を消したい場合は、「[回線モニター音レベル送信]」と「[回線モニター音レベル受信]」の両方を「[0]」に設定するか、「[回線モニター音]」を「[OFF]」に設定してください。</p>
[手動受信時 V.34 OFF]	<p>ファクス（G3）を手動受信するとき、V.34モードを自動的に解除するかどうかを選びます。</p> <p>初期値は「[有効]」です。</p>

[送信 / 受信設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [送信 / 受信設定]

本機で受信したファクスの印刷のしかたや、ポーリング送信時のファイルの扱いを設定します。

設定	説明
[受信原稿両面印刷]	<p>複数ページのファクスを受信したときに、用紙の両面に印刷するかどうかを選びます。</p> <p>「[ページ分割記録]」で「[ON]」を選んだ場合は、設定できません。</p> <p>初期値は「[OFF]」です。</p>
[インチ系用紙優先選択]	<p>ファクスを受信したときに、インチ系の用紙に優先的に印刷するかどうかを選びます。</p> <p>初期値は「[OFF]」です。</p>
[記録用紙優先選択]	<p>ファクスを印刷する用紙の選択基準を選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「[自動選択]」：受信したファクスに合わせて自動的に選んだ用紙に印刷します。 「[サイズ固定]」：「[記録用紙サイズ]」で指定した用紙にだけ印刷します。 「[サイズ優先]」：「[記録用紙サイズ]」で指定した用紙に印刷します。用紙がない場合は、最も近いサイズの用紙に印刷します。 <p>初期値は「[自動選択]」です。</p>
[記録用紙サイズ]	<p>受信したファクスを印刷する用紙のサイズを選びます。</p> <p>初期値は「[インチ系用紙優先選択]」の設定によって異なります。</p> <p>○ひとこと 「[記録用紙サイズ]」の設定を有効にするには、「[給紙トレイ固定]」を「[自動]」に設定してください。</p>
[給紙トレイ固定]	<p>ファクスを印刷するときに使う給紙トレイを固定する場合に、トレイを指定します。</p> <p>初期値は「[自動]」です。</p>
[縮小率]	<p>必要に応じて、ファクスを印刷するときの縮小率を変更します。</p> <p>初期値は「[96%]」です。</p> <p>○ひとこと 「[縮小率]」を「[100%]」に設定した場合は、「[記録用紙優先選択]」は「[自動選択]」に、「[給紙トレイ固定]」は「[自動]」に、「[ページ分割記録]」は「[OFF]」に設定されます。</p>
[ページ分割記録]	<p>定形サイズよりも長いファクスを受信したときに、ページを分割して印刷するかどうかを選びます。</p> <p>「[受信原稿両面印刷]」で「[ON]」を選んだ場合は、設定できません。</p> <p>初期値は「[OFF]」です。</p>
[ポーリング送信後文書]	<p>ポーリング送信機能でポーリング用のファイルを登録してお使いの場合に、ポーリング指示によってファイルが送信されたあと、ファイルを削除するかどうかを選びます。</p> <p>初期値は「[削除する]」です。</p>

[機能設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定]

ファクスのいろいろな送受信機能を使うための設定をします。

設定	説明
[機能 ON/OFF 設定]	ファクスの送受信機能の有効／無効を設定します。
[F コード送信]	F コード送信機能を使うかどうかを選びます。 親展送信、中継依頼をするときに使います。 初期値は [ON] です。
[ナンバーディスプレイ機能]	ナンバーディスプレイ機能を使うかどうかを選びます。 ナンバーディスプレイ機能は、電話をかけてきた相手の番号をパネルに表示する機能です。ナンバーディスプレイ機能を使うには、NTT とナンバーディスプレイサービスの契約が必要です。 初期値は [OFF] です。
[G3 ファクス送信禁止]	G3 ファクスの送信を許可するかどうかを選びます。 初期値は [許可] です。
[G3 ファクス受信禁止]	G3 ファクスの受信を許可するかどうかを選びます。 初期値は [許可] です。
[PC-FAX 送信禁止]	ファクストライバーを使った PC-FAX 送信を許可するかどうかを選びます。 初期値は [許可] です。
[強制メモリー受信設定]	強制メモリー受信機能を使うための設定をします。
[ON/OFF]	強制メモリー受信機能を使うかどうかを選びます。 初期値は [OFF] です。
[パスワード]	強制メモリー受信機能を使う場合は、強制メモリー受信ボックスへのアクセスを制限するためのパスワードを入力します（数字 8 衔以内）。
[転送ファクス設定]	転送ファクス機能を使うための設定をします。
[使用設定]	転送ファクス機能を使うかどうかを選びます。 初期値は [OFF] です。
[転送先]	受信したファクスの転送先（ファクス宛先、E-mail 宛先）を指定します。 登録宛先を押すと、登録済みの短縮宛先から指定できます。
[出力機能]	受信したファクスを転送するときに、本機で印刷するかどうかを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [常時印刷]：転送すると同時に、本機でも印刷します。 ・ [不達時ののみ印刷]：正常に転送できなかった場合だけ、本機で印刷します。 初期値は [不達時ののみ印刷] です。
[リモート受信設定]	リモート受信機能を使うための設定をします。
[リモート受信設定]	リモート受信機能を使うかどうかを選びます。 初期値は [OFF] です。
[リモート受信番号]	リモート受信機能を使う場合は、受信指示用の番号（リモート受信番号）を入力します（数字 2 衔）。
[PC-FAX 受信設定]	PC-FAX 受信機能を使うための設定をします。
[使用設定]	PC-FAX 受信機能を使うかどうかを選びます。 初期値は [許可しない] です。
[受信後印刷]	受信したあとに、本機でも印刷するかどうかを選びます。 初期値は [しない] です。
[夜間受信設定]	夜間受信機能を使うための設定をします。
[夜間受信使用設定]	夜間受信機能を使うかどうかを選びます。 初期値は [OFF] です。
[夜間受信開始時刻]	夜間時間帯の開始時刻を入力します。 初期値は [00:00] です。
[夜間受信終了時刻]	夜間時間帯の終了時刻を入力します。 初期値は [00:00] です。

[PBX 接続設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [PBX 接続設定]

構内回線（PBX）環境に接続して使うかどうかを選びます。

構内回線（PBX）環境に接続して使う場合は、外線番号を入力します。

初期値は [OFF] です。



構内回線（PBX）環境に接続してお使いの場合、[PBX 接続設定] を使用せずに外部に発信することもできます。その場合、外線番号（PBX から外部へ接続する番号）に続けて、P（ポーズ）と相手の電話番号を入力します。

[レポート出力設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [レポート出力設定]

ファクス関連のレポートの印刷条件を設定します。

設定	説明
[通信管理レポート]	ファクスを送信／受信した結果を記載したレポート（通信管理レポート）の印刷方法を設定します。
[出力設定]	通信管理レポートを印刷するかどうかを選びます。印刷する場合は、印刷するタイミングを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [毎日]：[出力時刻設定] で指定した時刻に毎日印刷します。 ・ [100 通信毎]：100 通信ごとに印刷します。 ・ [100/毎日]：[出力時刻設定] で指定した時刻に毎日印刷します。さらに、100 通信ごとも印刷します。 ・ [しない]：通信管理レポートを印刷しません。 初期値は [100 通信毎] です。
[出力時刻設定]	[出力設定] で [毎日] または [100/毎日] を選んだ場合に、レポートを印刷する時刻を入力します。 初期値は [00:00] です。
[出力限定設定]	[出力設定] で [毎日] または [100/毎日] を選んだ場合に、最新の 100 通信分のレポートを印刷するか、24 時間以内の通信分（前回印刷したレポートに記載されている通信以降）のレポートを印刷するかを選びます。 初期値は [100 件] です。
[備考欄印字設定]	本機でユーザー認証や部門管理を導入している場合に、ユーザー名／部門名を通信管理レポートの備考欄に印字するかどうかを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [通常印字]：回線の状態や送信時の設定を印字します。 ・ [ユーザー名印字]：ユーザー認証のユーザー名を印字します。 ・ [部門名印字]：部門認証の部門名を印字します。 初期値は [通常印字] です。
[送信結果レポート]	ファクスの送信結果を記載したレポート（送信結果レポート）の印刷方法を設定します。
[出力設定]	送信結果レポートを印刷するタイミングを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [ON]：ファクスを送信したあと、常に印刷します。 ・ [エラー時のみ]：ファクスの送信に失敗した場合に印刷します。 ・ [しない]：送信結果レポートを印刷しません。 初期値は [エラー時のみ] です。
[送信結果レポート 画付]	送信原稿の 1 ページ目の縮小画像を送信結果レポートに印刷するかどうかを選びます。 初期値は [OFF] です。
[予約レポート]	タイマー通信機能を使ったファクス送信の予約記録を記載したレポート（通信予約レポート）を印刷するかどうかを選びます。 初期値は [ON] です。
[PC-Fax 送信エラー レポート]	PC-FAX 送信に失敗したことを記載したレポート（PC-FAX 送信エラーレポート）を印刷するかどうかを選びます。 初期値は [OFF] です。

設定	説明
[同報結果レポート出力]	同報送信の結果を記載したレポート（同報結果レポート）の印刷方法を設定します。
[使用設定]	同報結果レポートを印刷するかどうかを選びます。 初期値は [ON] です。
[出力設定]	同報通信の結果を、通信したすべての宛先でまとめるか、宛先ごとに記載するかを選びます。 初期値は [全宛先一括] です。
[送信結果レポート画面]	送信結果レポートの印刷を確認する画面を、送信のたびに表示するかどうかを選びます。 初期値は [表示しない] です。

[設定値リスト]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [設定値リスト]

ファクス関連の設定値を記載したリストを印刷します。

[印刷する] を選択し、選択を押すと印刷できます。

6.7 [システム連携]

[管理者発信]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [システム連携] - [管理者発信]

本機の状態を遠隔から診断するサービスをご利用の場合は、本機の使用状況を遠隔診断システムに送信します。

6.8 [セキュリティ設定]

[管理者パスワード]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [セキュリティ設定] - [管理者パスワード]

必要に応じて、本機の管理者パスワードを変更します。変更したパスワードは、忘れないように大切に管理してください。

現在の管理者パスワードを入力したあと、新しい管理者パスワードを設定します。

初期値は [12345678] です。



管理者パスワードの入力を設定された回数間違えると、本機の操作が禁止されます。この場合は、本機の電源を ON/OFF してください。

[セキュリティ詳細]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [セキュリティ設定] - [セキュリティ詳細]

認証操作やデータ管理に関する機能を制限して、セキュリティを強化します。

設定	説明
[パスワード規約]	<p>パスワード規約を有効にするかどうかを選びます。パスワード規約を有効にする前に、現在設定されているパスワードを、規約を満たすパスワードに変更してください。 初期値は [OFF] です。</p> <p>パスワード規約を有効になると、本機で設定するパスワードに対して、次の規約を適用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 衔または 8 衔以上のパスワードのみ許可する ・ 英字の大文字と小文字は区別する ・ 同一文字だけのパスワードは禁止する ・ 変更前と同じパスワードは禁止する <p>次のパスワードが、パスワード規約の対象となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理者パスワード ・ ユーザーパスワード ・ 部門パスワード ・ 機密印刷のパスワード ・ SNMP パスワード
[手動宛先入力]	ユーザーに対して、宛先の直接入力を許可するかどうかを選びます。 初期値は [許可] です。
[ジョブログ設定]	ジョブログの種類ごとに、ログ情報を取得するかどうかを選びます。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
[ジョブログ設定]	ジョブログを取得するかどうかを選びます。 初期値は [OFF] です。
[課金ログ]	課金ログを取得するかどうかを選びます。ユーザーや部門ごとに、用紙の使用量に関する情報を取得できます。 初期値は [ON] です。
[集計ログ]	集計ログを取得するかどうかを選びます。用紙の使用量や、用紙をどれだけ削減して印刷しているかなどの情報を取得できます。 初期値は [ON] です。
[監査ログ]	監査ログを取得するかどうかを選びます。ユーザーの操作やジョブ履歴を取得できます。不正行為や情報の漏洩を、後から追跡できます。 初期値は [ON] です。
[上書き]	ハードディスクの使用領域がいっぱいになり、新しいログを保存できないとき、ログの上書きを許可するかどうかを選びます。 初期値は [禁止] です。
[ジョブログ消去]	ジョブログを消去します。
[イニシャライズ]	ネットワーク設定、システム設定、全設定を選んで初期化を実行します。

[セキュリティ強化設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [セキュリティ設定] - [セキュリティ強化設定]

セキュリティ強化モードを有効にするかどうかを選びます。

セキュリティ強化モードを有効にすることで、さまざまなセキュリティ機能が連動して設定されます。データ管理において安全性をより高めることができます。

セキュリティ強化設定を有効にするには、あらかじめ以下の設定が必要です。

管理者設定の設定項目	必要な設定
[セキュリティ設定] - [セキュリティ詳細] - [パスワード規約]	[ON] を選びます。
[セキュリティ設定] - [管理者パスワード]	パスワード規約を満たすパスワードを設定します。
[セキュリティ設定] - [HDD 管理設定] - [HDD 暗号化設定]	[ON] を選びます。
Web Connection でユーザー認証を設定する	詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 2 章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。
Web Connection で本機の証明書を登録する	詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 2 章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。

セキュリティ強化設定を有効にすると、連動して以下の設定が変更されます。

管理者設定の設定項目	変更される設定
[環境設定] - [ユーザー操作禁止設定] - [登録宛先変更]	[禁止] に設定されます。
Web Connection の [セキュリティ] - [認証] - [一般設定] - [パブリック許可]	[制限] に設定されます。
Web Connection の [セキュリティ] - [認証] - [一般設定] - [認証指定なしプリント]	[制限] に設定されます。
[ネットワーク設定] - [FTP 設定]	[無効] に設定されます。
Web Connection の [ネットワーク] - [SNMP 設定] - [SNMP v1/v2c 設定]	[ライト] : [無効] に設定されます。
Web Connection の [ネットワーク] - [SNMP 設定] - [SNMP v3 設定]	読み書き可能ユーザーの [セキュリティーレベル] が [認証パスワード / プライバシーパスワード] に設定されます。
Web Connection の [セキュリティ] - [PKI 設定] - [SSL/TLS 設定]	<ul style="list-style-type: none"> • [SSL/TLS] : 無効には変更できません。 • [暗号化の強度] : [AES256, 3DES] より低い強度が含まれる設定に変更できません。



参考

- [セキュリティ強化設定] に連動して変更された設定は、[セキュリティ強化設定] を無効にしても、変更されません。
- パスワード規約が有効に設定されると、規約を満たしていないパスワードが設定されている項目は、認証時に認証失敗になります。

[HDD 管理設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [セキュリティ設定] - [HDD 管理設定]

本機のハードディスクを管理します。

設定	説明
[HDD 容量確認]	ハードディスクの使用領域、全領域、残量を確認できます。
[全領域上書き削除]	<p>本機を廃棄するときなどに、ハードディスクの全領域に保存されているすべてのデータを上書き削除します。</p> <p>上書き削除を実行するときは、[HDD 上書き削除方式] でモードを選んでから、「実行」を押します。</p> <p>[HDD 上書き削除方式] で選択できるモードは、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [モード 1] : 0x00 で上書き ・ [モード 2] : 1 バイトの乱数で上書き -1 バイトの乱数で上書き -0x00 で上書き ・ [モード 3] : 0x00 で上書き -0xff で上書き -1 バイトの乱数で上書き - 検証 ・ [モード 4] : 1 バイトの乱数で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き ・ [モード 5] : 0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き ・ [モード 6] : 0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き -乱数で上書き ・ [モード 7] : 0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き -0xaa で上書き ・ [モード 8] : 0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き -0x00 で上書き -0xff で上書き -0xaa で上書き - 検証 <p>初期値は「モード 1」です。</p>
[HDD フォーマット]	<p>ハードディスクをフォーマットします。</p> <p>あらかじめ、必要なデータをハードディスクから取出しておいてください。</p>
[HDD 暗号化設定]	<p>ハードディスクに保存されているすべてのデータを暗号化し、ハードディスク内のデータを保護します。</p> <p>[ON] を選ぶと、ハードディスクのフォーマットが行われることを通知するメッセージが表示されます。ハードディスク内のデータを暗号化する場合は、「実行」を選んでから、暗号化に使用する暗号化ワードを入力します（20 文字、大文字と小文字は区別する）。</p> <p>暗号化ワードを入力すると、本機が再起動し、ハードディスクのフォーマットが行われます。</p> <p>初期値は「OFF」です。</p>
<p> ひとこと</p> <p>ハードディスクの暗号化の設定を行うとハードディスクのフォーマットが行われるため、ハードディスク内に保存されているデータが消去されます。そのため、本機をお使いになる前に、ハードディスクの暗号化の設定を済ませておくことをおすすめします。</p>	



オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

[SSD 管理設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [セキュリティ設定] - [SSD 管理設定]

本機の SSD を管理します。

設定	説明
[全データ上書き削除]	本機を廃棄するときなどに、SSD の全領域に保存されているすべてのユーザーデータを上書き削除します。
[SSD フォーマット]	SSD をフォーマットします。

6.9 [ペーパーエンプティー設定]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ペーパーエンプティー設定]

トレイに用紙がなくなったときにメッセージウィンドウに警告メッセージを表示するかどうかを、トレイごとに設定します。

初期値は以下のとおりです。

- [トレイ 1] ~ [トレイ 2] : [ON]
- [手差し] : [OFF]



[トレイ 2] は、オプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。

6.10 [ライセンス管理]

[リクエストコード発行]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ライセンス管理] - [リクエストコード発行]

本機のシリアルナンバーとリクエストコードを表示します。

設定	説明
[シリアル No]	本機のシリアル番号を表示します。
[リクエストコード]	ライセンス管理サーバー (LMS) に登録する、本機のリクエストコードを発行します。
[印刷]	リクエストコードとシリアル番号を印刷します。

[有効化]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ライセンス管理] - [有効化]

拡張機能を識別するための機能コードと、拡張機能を有効化するためのライセンスコードを入力して、拡張機能を有効化します。

設定	説明
[機能コード]	機能コードを入力します。
[ライセンスコード]	ライセンスコードを入力します。
[実行]	入力した機能コードとライセンスコードで、拡張機能を有効化します。

[有効機能一覧]

表示するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ライセンス管理] - [有効機能一覧]

有効になっている拡張機能の一覧を表示します。



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ株式会社